

1 PLAN(目的・概要)

政策名	港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり		30年度事業・施策評価結果		責任者	建設部 施設工事担当課長
施策名	港の安全性・信頼性・危機管理の向上		成果	コスト		
事務事業名	アスベスト施設の点検				連絡先	052-654-7937
対象(誰・何を)	アスベストの使用された施設				連携課	管理課、総務課
目的	意図(どうい う状態にしたいか)	アスベストの粉塵状況の状態監視を行うことにより、健康被害の防止を図ります。			事業期間	平成17年度～令和元年度
概要	本組合の所管する施設の内、アスベストの使用された旧施設事務所について、実施された定期点検報告を取りまとめます。				根拠法令等	労働安全衛生法 石綿障害予防規則
令和元年度の実施予定	アスベストの使用された旧施設事務所について、目視点検を行い定期点検報告を取りまとめます。 なお、今年度、当該事務所のアスベストの撤去工事を実施予定です。				実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
					関連シート	

2 DO(実施)

令和元年度に実施した内容・結果	旧施設事務所について、目視点検を行い定期点検報告を取りまとめました。 また、当該事務所のアスベストの撤去工事を実施しました。					
コスト	単位	29年度	30年度	元年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	97	97	0	65	石綿粉じん濃度測定を委託業務から直営業務へ変更したため 事業費が0となっています。
人件費	千円	1,287	1,291	275	951	
合計	千円	1,384	1,388	275	1,016	

3 CHECK(検証)

成果目標名		29年度	30年度	元年度	最終目標	1	成果目標の説明・目標値の考え方	外部要因
アスベスト測定対象施設の点検(件)	目標	1	1	1		1	対象施設は、旧施設事務所1件です。	
	実績	1	1	1				
	(単年度管理型) 事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
アスベスト測定対象施設の確認率(%)	目標	100	100	100		100		
	実績	100	100	100				
	(単年度管理型) 事業進捗状況(元年度)		目標値を上回る 目標値をやや下回る		目標値どおり 目標値を下回る			
目標の達成度に対する評価(外部要因等を踏まえた)	目標どおり、アスベストの粉塵状況の状態監視を行いました。							
必要性・有効性・効率性の検証	評価	評価に関する説明						
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	○						
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	○						
有効性	事務事業の目的は、施策達成に貢献するか?	○						
	期待どおりの成果が得られているか?	○						
効率性	最小のコストとなっているか?	○						

4 ACTION(取組)

施策評価結果	2年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
完了			旧施設事務所のアスベストの撤去工事が完了し、対象施設が無くなったため。
課題		2年度以降の取組	